

若手句会 令和四年 十二月九日 実況中継

【講師】今井 聖・角谷昌子

受講者 十名参加

【高点句】

○白鳥の珠となりゆく眠りかな

伊藤 幹哲

(角谷特選・今井準特選、受講者2名選)

・美意識にぶれはないが、少し屈折が欲しい。(今井) 「ゆく」を「たる」に変えたほうがいい。(角谷)

○風邪心地シネマの闇に守らるる

福田 健太

(角谷準特選・今井準特選、受講者1名選)

・「心地」がいらぬのではないか。(今井) 「守らるる」がいらぬ。(角谷)

○夫の背へ大きく毛布掛けにけり

笠原 小百合

(受講者3名選)

・「大きく」が要らないのではないか。(角谷) 愛情を素直に詠むと屈折がなく詩情が乏しくなる。(今井)

○去年今年地より天まで工事中

庄田 宏文

(受講者3名選)

・「天」か「地」のどちらかに絞った方がいい。(角谷) 構成ができすぎた。(今井)

○浮寝鳥忘の一字の如くあり

福田 健太

(今井特選、受講者2名選)

・発想がよく、形態がよく見える。(今井)

○耳すこしつんのめりゐるマスクかな 木内 縉太 (受講者3名選)

・「つんのめりゐる」が問題で、ここを直すとよくなりそう。(角谷)

○鯛焼に少し借りたる思考力 伊藤 幹哲

(角谷特選・今井特選、受講者1名選)

・頭を使うときに甘いものが欲しくなる。その事を上手く表現できた。(角谷)

○後悔のやうに白息留まりぬ 白井 飛露 (今井準特選、受講者2名選)

・白息が後悔のようだという発想がよい。(今井)

○新宿の街の鼓動のブーツかな 笠原 小百合 (今井特選・受講者2名選)

・「街の」は要らない。「鼓動をはこぶブーツかな」ではどうか。(今井)

○猟犬の舌をしまはで息荒し 木内 縉太 (角谷特選、受講者2名選)

・「舌をしまはで」に臨場感がある。(角谷) 「猟犬」と「息荒し」は付きすぎ。舌や

歯の様子をいえばもっという句になる。(今井)

○銅像の厚き胸板冬日和 佐藤 一樹 (角谷準特選、受講者2名選)

・誰の銅像か分からないが、写生がしっかりしている。季語と合っている。(角谷)